

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム
モデルカリキュラム改訂に関する特別委員会（第1回）議事要旨

日 時：令和5年12月8日（金）14：00～15：00

場 所：Zoom によるオンライン会議

出席者：河合玲一郎（東京大学・教授）、菅由紀子（株式会社 Rejoui・代表取締役）、孝忠大輔（日本電気株式会社 AI・アナリティクス統括部長）、駒本文保（東京大学・教授）、瀬戸川昌之（滋賀県教育委員会事務局・主幹）、林和則（京都大学・教授）、巳波弘佳（関西学院大学・副学長・教授）、ルゾンカ典子（コスモエネルギーホールディングス株式会社・常務執行役員 CDO）

陪席者：梅原（文部科学省専門教育課課長）、奥井（文部科学省専門教育課課長補佐）、笠原（文部科学省専門教育課主任）、平山（経済産業省情報技術利用促進課政策企画調整官）、金杉（経済産業省情報技術利用促進課課長補佐）、島田（経済産業省情報技術利用促進課調査官）、荒木（経済産業省情報技術利用促進課係長）、高木（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局政策調査員）、森（東京大学・准教授）、鶴岡（数理・データサイエンス・AI コンソーシアム事務局）

議事に先立ち各委員から自己紹介があり、次いで梅原文部科学省専門教育課長から、挨拶があった。

次いで河合委員が主査に選出され、議事の進行を行った。

議 事

- 1 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）モデルカリキュラム検討の背景及び当委員会設置の目的について
河合主査から、資料2に基づき、数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）モデルカリキュラム検討の背景及び当委員会設置の目的について、説明があった。
- 2 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）モデルカリキュラムについて
事務局から、資料3及び4に基づき、現行のリテラシーレベル及び応用基礎レベルの数理・データサイエンス・AI モデルカリキュラムについて、説明があった。
- 3 数理・データサイエンス・AI モデルカリキュラムの改訂検討に係るアンケート調査結果について
文部科学省専門教育課から、資料5に基づき、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル、応用基礎レベル）認定校を対象として文部科学省が実施したモデルカリキュラム改訂にかかるアンケート調査の結果について、説明があった、またアンケート結果の取扱いについて、注意があった。
- 4 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）モデルカリキュラム改訂の基本的な考え方について
事務局から、資料6に基づき、モデルカリキュラム改訂の基本的な考え方及びたたき台の説明があった。続いて各委員により意見交換を行った。
- 5 その他（今後のスケジュール等）
河合主査から、資料7に基づき、次回委員会は1月10日開催である旨、説明があった。

以上